～学び　愛し　翔る　西郷小～

西郷富士

毎回 HP チェック有り難うございます！

西郷小学校
令和２年度第 48 号
令和３年３月 19 日
文責　校長　田中裕子

六年生への感謝

ここ１週間ほどの間に、過去の担任の先生から祝電やお祝いがぞくぞくと届きました。ロ々に子ども達の素直さを褒めていかれます。どの先生からも愛された６年生、ついつい声をかけたくなる雰囲気をもつ６年生、何かをしてあげたくなる６年生であったと思います。もしかしたら、６年生の皆さんは、流れを自分達で引き寄せる力があるのかもしれませんね。

在校生が持ってきてくれた花も今年はいつもよりも多く、学校中が華やかな雰囲気に包まれました。卒業生を祝う花々はどれも美しい佇まいで、見ている者に幸福感を与えます。

６年生の皆さんのご卒業を心からお祝いいたします。

★おめでとう★

読書マイスター賞代表
６年　齋藤　舞　さん
６年生で一番早くマイスターになりました！

佐賀新聞チャレンジ３days
販売店賞
石井　亜美さん
糸山　弥里さん

厳粛な雰囲気で執り行われたお別れ式

初めて行われたお別れ式は、卒業式にも劣らない立派なものでした。卒業生を待つ時の厳かな雰囲気は、４年生がつくり出してくれました。誰一人おしゃべりをせず、ただただ静かに居住まいを正し、姿勢を整え、式が始まるのを待っていてくれたのでした。その様子を一見しただけで、今日のお別れ式は素晴らしいものになると確信したのでした。

そして、迎えた式では在校生のお礼の言葉や６年生のお別れの言葉が講堂中に響き渡り、見ている者に大きな感動を与えました。共に歌った最後の校歌は、子ども達の心に染み渡っていったことでしょう。

３０分の時間はあっという間に過ぎていき、堂々と卒業生の皆さんは私たちの前を歩いて退場していきました。それを拍手で見送る子ども達の胸には、様々な思いが去来したことでしょう。

粛々と進む式を見ながら、子ども達が儀式を通して一回りも二回りも大きく成長するのを感じます。これこそ教師の醍醐味かもしれません。６年生は勿論ですが、入学して1年とは思えない素晴らしい聞く態度の１年生、時と場を見て行動を切り換えることが出来る２年生、大きな声で物怖じせずに言葉を言える３年生、自分達がリーダーだと身を以て示すことができる４年生と在校生の成長も実に大きなものでした。その陰には、担任の見えざる指導が幾重にも入っています。

まさに、西郷小学校の伝統の力を見た思いがしたお別れ式でした。

四十八号は卒業生に渡す最後の学校だよりとなりました。年間五十号めざしてきましたが、何とかいけそうです。
今年度も毎回ご愛読いただき有り難うございます。

４･５年生の準備が素晴らしかったです！！もう、自分達が西郷小を率いていくという気概のようなものが感じられました。卒業式が成功するかどうかは前日準備を見ればわかると言われますが、できることを率先して見つける姿が随所に見られました。５年生は、在校生代表として、卒業式に出席し、卒業生の姿を目に焼き付けていました。
（卒業式については、49 号に掲載します。）